

平成 26 年度犬山さくら保育園事業報告書

1. 基本理念

〈こんな保育園をめざしています〉

- ① 子どもたちに豊かな生活環境を保障していきます。
 - ・増改築工事の中、園児に過度な負担をかけないように配慮しつつ保育を実施した。
 - ・園内学習は定期的な学習は難しかったが、「やわらかい自我のつぼみ」（白石正久著）をもとに子どもの発達の見方を統一してきた。子どもの心によりそった保育ができるよう「場面記録」等、具体的事例をもとに学習した。
- ② 子育てのパートナーとして、保護者が安心して預けることのできる保育園をめざします。
 - ・連絡帳の書き方の学習、一日保育士体験、壁新聞の作成など、保護者に保育が見えるようにしてきた。
- ③ 職員が生き生きと働き続けられる保育園をめざします。
 - ・26年度は、増築工事のため部屋の使い方等制限が多く、保育がしづらい面があったため、パート職員補充で乗り切った面があった。
- ④ 地域に根ざした子育て支援センターをめざします。
 - ・工事中のため、例年のような地域の母子に向けた「ひろば」は各年齢月 1 回と縮小したが、各クラスで受け入れたため、参加者からは「園児とともに保育に参加できてうれしかった」等の声をいただいた。

2. 保育園内の役割分担を明確にし、遂行する。

- ・環境・写真・食育等の係りは決めたものの、増改築中という制限があり、十分には出来なかった。来年度への課題とする。

3. 各種会議の充実を図り、決定事項を全員のものにする。

- ・調理員会議（調理員、パート調理員、園長、主任）を年 3 回開催できた。「クッキング」のとりくみでは計画から調理員が会議に加わり取り組めた。

4. 地域に向けて子育て支援活動に取り組む。

- ・増改築工事のため、一時保育・「ひろば」の受入れ人数を制限した。特に「ひろば」は、上半期・下半期に分け、各年齢 5 組の登録制にし、月 1 回各クラスでの受け入れと、大幅に削減した。しかし参加者からは、同年齢の保育園児と一緒に遊べたことが好評だった。

5. 職員の資質向上をめざし研修に取り組む。

- ・園内研修の他、職員会議内でのミニ学習会にとりくんだ。

6. 保育設備

- ・増築工事のため、園児に事故がないよう気を付けた。工事中の諸注意等、急な連絡に対応するた

めにメールの一斉送信を取入れたが、いつまでも送信できない人がいるなど不都合が多かったため今後は見合わせることにした。

・

7.資金の計画

・通常経費は、運営費収入および補助金収入及び利用料収入で賄いました。
増改築に関わる備品整備のための寄付金を受け付けた。